

植物多様性センターの「カリガネソウとクサギ」

学習園内でカリガネソウとクサギの花が咲いています。どちらもシソ科の植物で、特徴的な匂いが有名なところも一緒です。カリガネソウは花弁の形を雁(かりがね)が飛ぶ姿に見立てた和名です。雄しべは長く4本あり、1本の雌しべとともに上に伸びてから下向きに湾曲します。クサギは葉の臭気から臭木と書きます。花はカリガネソウと同じように4本の雄しべと1本の雌しべが伸びますが、こちらは前に突き出てから上に向かって緩く湾曲します。



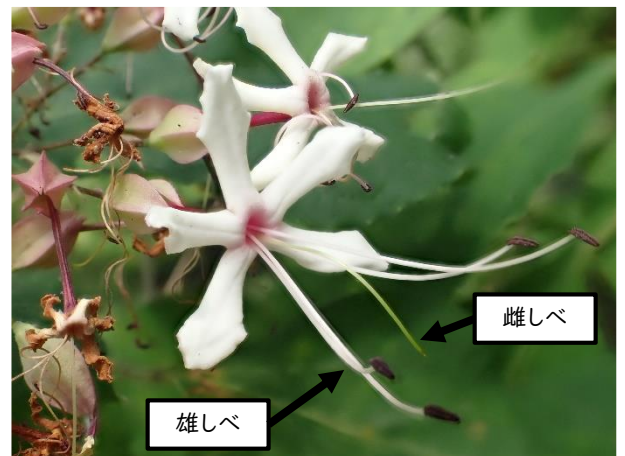
カリガネソウ: 林縁などに生える多年草。



カリガネソウの花: 雄しべを船の帆に見立て、ホカケソウとも呼ぶ。



クサギ: 原野などに生える先駆性の落葉低木。



クサギの花: 葉とは違い、花らしい良い匂い。